

水産高校生のインターンシップ受け入れ

漁業調査船「とくしま」船長, 長尾 和年

Key word ; 漁業調査船「とくしま」, 県立水産高校, インターンシップ, 職業体験

水産研究所では平成 13 年からほぼ毎年県立水産高校の学生毎年 1~3 名を漁業調査船「とくしま」にインターンシップ(職業体験)として受け入れていています。今年度も 9 月 13~14 日に海洋工学科 2 年の小倉 瞬君, 中岡 祥寛君, 長尾 雅斗君の 3 名が乗船し, 紀伊水道の海洋観測を体験しました。やや波浪がありましたが, 3 名はブリッジでの操船やワッチ、電子チャート(エグジス)などの航海計器について、機関室でエンジン等について職員から説明を受けました。その他には透明度板や採水による海洋観測やワッチを体験しました。3 名は「とくしま」の乗組員とも良いコミュニケーションをすることができ, 職場の雰囲気も感じ取ってくれたと思います。小倉君は「最初の不安はすぐになくなったけど, 船酔いに苦労しました。」, 中岡君は「調査船の仕事の厳しさがわかりました。」, 長尾君は「最初は船酔いになったけど, すごくいい体験ができました。」と感想を述べています。徳島の漁業を担う逞しい海の男に育ってくれることを職員一同願っています。



写真 1 漁業調査船「とくしま」の船橋部をバックにして記念写真。前列 4 名中左から小倉 瞬君, 中岡 祥寛君, 長尾 雅斗君及び船舶職員 6 名